① 古河市交流

３月26日から28日までの３日間、神室少年自然の家と秋山スキー場を会場に、古河市との少年少女の集いが行われ、古河市からの児童32名と、当町代表児童20名が交流しました。ソリ乗り体験や雪をつかったアイスクリーム作りなど、真室川ならではの雪にちなんだ交流で、子どもたちは絆を深めました。

３日間の共同生活を通して大きな思い出と絆を育んだ子どもたち。今回の交流が「未来」へつながっていくことが期待されます。

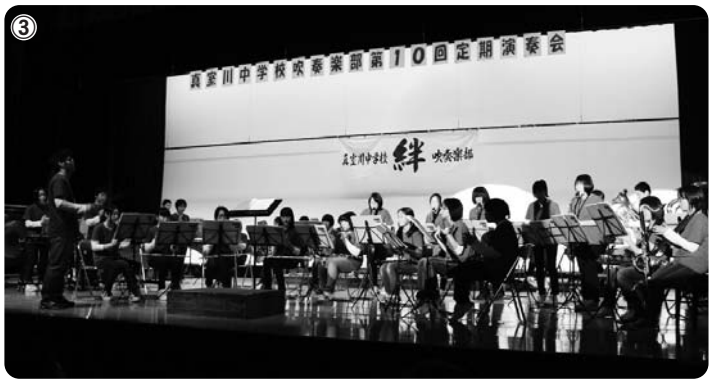
② 消防新入団員辞令交付式

４月14日（日）、町民体育館で、新入団員辞令交付式が行われました。今年は21名の団員が入団し、斉藤団長から緊張した様子で一人ひとり辞令を受け取りました。

式後の訓練では、消防団幹部から整列や敬礼などの指導が行われ、団員としての基礎となる規律を学びました。

③ 仲間との「絆」を胸に演奏

３月30日（土）、中央公民館で、真室川中学校吹奏楽部「第10回定期演奏会」が開催されました。今回は、「『絆』仲間と共に…奏でる熱い思いを」をテーマに、３部構成で演奏会が行われました。部員一丸となり、ぴったりと息のあった演奏を披露しました。



④ ふるさと「三滝」に想いを馳せて

３月３日（日）、瀬見温泉で、首都圏に在住する三滝地区出身者と、同地区及び県内に在住する人々が交流を深める「第３回ふるさと三滝交流の集い」（三滝区長：佐藤卯吉、代表世話人：矢作吉郎）が開催され、38名の方が参加しました。

有志によるお祝いの謡（うたい）や、三滝地区出身で首都圏にて活躍中の民謡愛好家による民謡の披露などが行われ、ふるさとへの想いを語りながら交流を深める和やかな会となりました。

町長コラム　未来に向かって

及位中学校は、地域と深い係わりの中で取り組んできた事業が沢山あり、正に地域に根差した学校、地域とともに発展してきた学校であるが、60年の歴史に終止符を打ち今年度より真室川中学校と統合して、新たな歴史を築くことになる。

文部科学省の「学力向上フロンティア事業」では、実践とその成果が県内外から高く評価され「学力の及位中」と言われ、私は当時議員だったので、議会で「真室川中学校でも実践するべきだ」と発言したのを思い出す。残念ながら実現には至らなかった。

文化・スポーツの活躍もあり、平成18年の中体連では、卓球女子団体で優勝した時、私も会場で応援していて、その時の感激は今でも脳裏に焼き付いている。

昨年の野球の試合では、雨が降る悪天候の中、先行されたがタイムリーが出て逆転し、イレギュラーでエラーしてもおかしくない状況下、固い守備であった。１点差で負けてしまったが、見応えのある内容であった。

今年、町内の全ての小中学校の教室にエアコンを完備し、快適かつ効果的な学習環境を整備する。児童、生徒たちが、自然豊かな町で健やかに成長する事を願う。

真室川町長　井上　薫